

学 生 近 況 報 告

卒業を控えて

黒 崎 滋 之 (6 年次)

医学科同窓会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。6 年次の黒崎滋之と申します。「学士さんのどなたか、せっかくだから学年報告を書いてみませんか」と年次長に依頼されてから 4 年間書いてきたこの学年報告も、今回で最後となります。なんだかあっという間の 4 年間でした。振り返るのはまた後ほどにしておきましょう。

さて、私たち 6 年次は今年の 6 月にポリクリ、そして選択実習を含む全ての実習を終えました。その後は 7 月から 8 月にかけて研修希望病院の試験を受け、また西日本医科学生総合体育大会に参加するなど例年以上に忙しい夏を送りました。そして 9 月から約 1 か月半の間、総合試験と各診療科の卒業試験を受けました。10 月下旬にはマッチングの結果が発表され、平成 25 年 4 月からの研修先が決まり、そろそろ第 107 回医師国家試験の出願の準備をせねばならないという時期にきました。こうして 6 年次として与えられた課題やイベントを一つ一つ乗り越えていくたびに、いよいよ卒業が近づいてきたのだなという実感が増てきます。

卒業後はみなそれぞれの道を歩んでいくのだらうと思います。十人十色といいますが、10 人いれば 10 通りの、そして 100 人いれば 100 通りの生き方があります。沖縄県内に残ったり県外に行ったり、いずれは留学や海外協力として世界に活動の場を求める同級生も出てくることでしょう。医療現場で頑張る人もいれば、基礎研究に従事する人もいるでしょうし、はたまた医学という枠組みを超えて一般社会に出ていく人もいると思います。

しかしどこでどのような道を歩もうと、27 期生というつながりを大切にしたいと思います。

飛び込むようにして琉球大学医学部医学科 3 年次に編入し、もう 4 年が過ぎようとしています。沖縄に来たのがつい昨日のように思えるくらい、あっという間でした。はじめは沖縄のことが右も左もわからない状態であり、その上 3 年次の講義と 2 年次の実習や試験を同時にこなしていくのは正直なところきついものがありました。しかし、同級生や先輩の学士編入生の助けもあり、なんとか乗り越えてくることができました。気づいたときにはポリクリが始まっており、目の前にあるレポートやプレゼンテーション、学会発表の準備で精一杯の日々。いよいよ慣れたかなという頃にはポリクリは終わりを迎え、マッチング試験、そして連日怒濤の卒業試験。本当にあっという間の 4 年間でした。

おそらくこれから先もあっという間に時間が過ぎていくのだらうと思います。その疾風のごとく過ぎ去る時間を持て余すのではなく、自分のために、そして社会のために役立てるようより一層努力したいと思います。また、編入当時に抱いていた志をこれからも持ち続け、日々直面する様々な限界を超えながらアグレッシブに、時に臨機応変にこれからの人生に挑戦していきたいと思います。

6 年間もしくは 4 年間、温かくかつ厳しく指導していただいた先生方、ありがとうございました。この学生時代で様々な面において成長できたと実感しています。先生方からするとまだまだ成長しきれていない部分もあるかと思いますが、これからも様々な場面でお世話になると思います。よろしく願いいたします。

